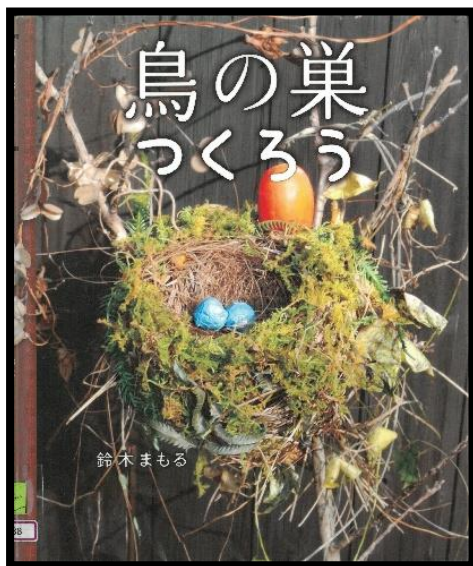


鳥の巣つくろう



鈴木 まもる/著

岩崎書店〔488〕

木の上を見上げると、枝の間の鳥の巣に気づくことがあります。わたしたちの身近にすんでいる鳥たちですが、どうやって鳥の巣を作っているのでしょうか。

この本を読むと鳥の巣がなんのために作られるのか、どうやって鳥の巣を作っているのか、鳥についていろいろなことが分かります。

小枝や毛糸などをつかって作る鳥の巣の作りかたも書いてあるので、工作や研究におすすめです。

ちょっとこわいメモ



北野 勇作/著

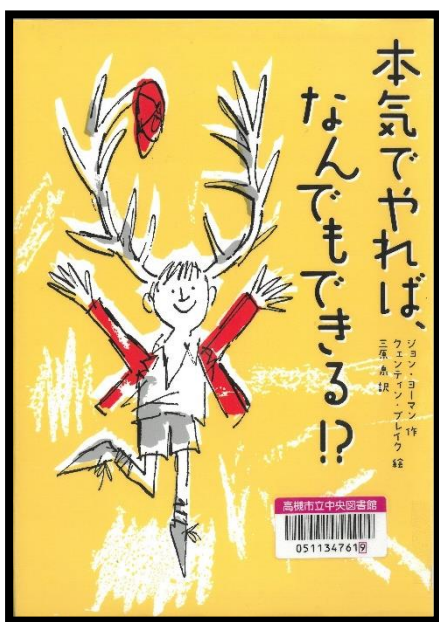
森本 晃司/画

福音館書店〔913キタ〕

主人公のゆうとはこわがり。怖いものがありすぎて、へらさないといけないと思い、ちょっとこわいものはメモに書くことにした。そうすれば、ほんとうにこわいのではなくて、ちょっとこわいだけだと思うから。

水たまりに落ちていたクマのぬいぐるみ。学校のプールでひろった緑色の皿。空き地のゴミ山で見つけたテレビ。ちいさいころお父さんと散歩した細くてくらい路地など、ゆうとが体験した、こわくてふしぎな4つのお話が出てきます。

本気でやれば、なんでもできる!?



ジョン・ヨーマン/作

クエンティン・ブレイク/絵

三原 泉/訳

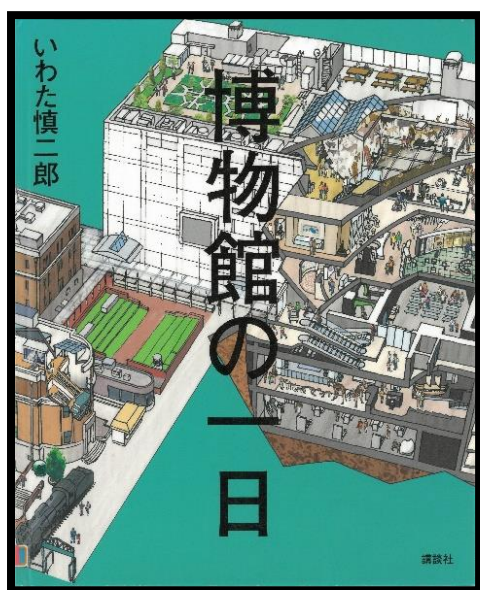
徳間書店〔933ヨマ〕

図工の時間、小学校3年生のビリーはちっとも集中できず、上手にかごが作れません。そんな時、先生に「できないと思っちゃだめ。いっしょうけんめいがんばればできないことなんて、ひとつもないのよ」と言われました。

その気になったところで、ともだちに「じゃあ、頭に角をはやせる？牛みたいにな？」と聞かれたビリーは、「できる」と答えてしまいます。

とにかくがんばって角をはやそうと考えるビリー。本気でやれば、本当に角をはやすことができるのでしょうか？

はくぶつかん 博物館の一日



いわた 慎二郎/作・絵

講談社〔エ〕

国立科学博物館には、恐竜の化石標本やたくさんの動物たちの、はく製などさまざまなものが展示されています。

博物館の研究員さんにどんな仕事をしているのかを聞いたり、体験ゾーンで科学のしゅみを体験したりすることもできます。

この本は2012年に出版されています。今は展示品の数や展示内容が変わっているかもしれません。実際に博物館に行ったらしかめてみるのもいいですね。